

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日 更新

事務事業名		ふれあい館維持管理事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健幸		所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	2	行政経営の推進・改革		所属課	高齢者支援課	担当者名	吉田 夕佳
	業務分野	12	公有財産の管理運営		所属班	介護保険班	(内線)	1171
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	
		一般	3	1	6	10432	合志市保健福祉センターふれあい館条例・同施行規則 指定管理協定書・年度協定書	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	○平成14年6月 保健福祉センター、子育て支援センター、児童館の複合施設として開館した。以来、合志市社会福祉協議会の活動拠点(事務所)となり、介護保険事業等(デイサービス・訪問ヘルパー等)、市委託事業(子育て支援事業、西児童館運営事業等)、乳幼児健診・がん検診の会場、ボランティアセンター、市民交流の場として総合的な保健・福祉事業を展開している。 ○平成27年11月 外壁改修完了(クラック補修、防水塗装、屋上防水補修等) ○令和2年度 屋上防水、空調機器更新、非常用自家発電設置工事実施 ○指定管理期間 第1期(平成18年9月～平成21年9月)、第2期(平成21年10月～平成24年3月)、第3期(平成24～28年度)、第4期(平成29～令和3年度)、第5期(令和4～8年度 指定管理者：社会福祉法人 合志市社会福祉協議会)
【業務の流れ】	【管理】○年度協定の締結(各年度の指定管理料額及び支払方法)、○モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認)、○修繕費負担等の協議、○指定管理料の支払(四半期毎) 【指定】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部会議→議会全協議) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査) ○選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	委託料(指定管理料)、負担金(施設修繕費)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

指定管理者に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営ができた。
 屋上キュービクルや非常用発電設備や熱源循環ポンプの取替の費用を負担し、施設の維持管理に努めた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

指定管理者に指定管理料を支払い、施設の設置目的に沿った管理運営に努める。

③予算の主な増減の理由

施設修繕見込みに伴う負担金の増

成果指標

施設・サービス等について満足と答えた割合

(単位)

データ取得方法

% 満足と回答した数÷(利用者アンケート総計-回答なし)=満足評価の数

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	%	97.4	91	95	93.6	95	95	95	95
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円						13,100	131,300
	その他	千円	13	17	28	14	35	35	35
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	33,262	32,420	31,734	31,825	31,565	31,565	35,981
(A) 事業費計	千円	33,275	32,437	31,762	31,839	31,600	31,600	49,116	205,761

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

施設の老朽化も進んでいるが重大な事故等もなく、利用者の安心・安全な環境づくりに努め、運営することができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)